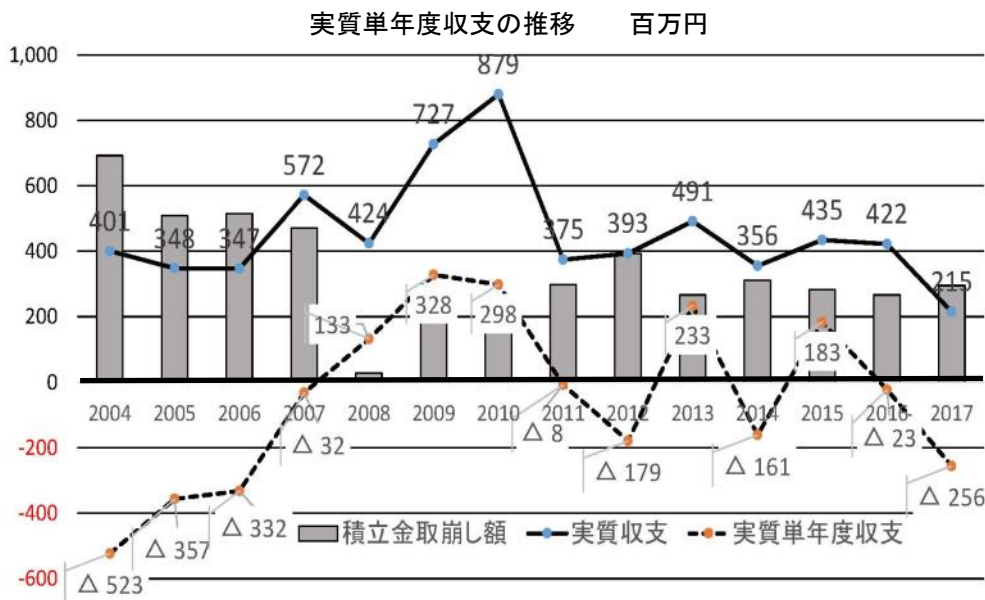


総合計画に財政健全化の目標を

近年赤字が続く市財政

小矢部市の実質単年度収支は最近2011, 12, 14, 16, 17年度と赤字が続いています(グラフ参照)。積立金(財政調整基金)を取り崩してのいでありますが、注意が必要です。



2019年度から始まる第7次総合計画 9月議会 砂田市議が反対討論

第7次総合計画には、財政健全化に向け借金を増やさない目標設定を明記していないことが問題だ。隣の市では40億円の財源不足を口実に、いきなり市民サービスを削減した。この市の

住宅の耐震化

砂田市議の一般質問

西日本豪雨災害に つづき、北海道胆振 東部地震が襲った。被災されたみなさまに心からお見舞いを申し上げます。さて、地球温暖化による環境破壊が深刻な被害をもたらすようになってきた。地震に襲われた際に命と暮らしを守るためにも住宅の耐震化が重要な課題の一つだ。

小矢部市の個人住宅の耐震化率は64%で、国の平均82%より遅れているが、小矢部市はこの遅れを取り戻し、2026年度末までに目標の90%以上を実現しようと計画している。

1戸100万円助成の 国制度活用は?

あと8年で90%の目標達成には、国が今年度、耐震補強の設計から改修までを一つのパッケージとして、一戸あたり100万円を限度として

借金を減らす三つの方策

財政破綻をきたせば市民のサービス低下になる。それを防ぐために、市の借金を抑制するしつかりとした目標を掲げ、毎年少しずつでも借金を減らしていくべきだ。

① 必要のないハコモノ建設は止める。② 必要な公共建築物でも、2年、3年に分けて借金を増やさない。③ 公共施設の統廃合でも、耐用年数を80年、100年に延ばして、更新や維持管理 理費のコストを縮減すべきだ。

借金をしても国が地方交付税で面倒を見てくれるからと



住宅耐震化緊急促進

アクションプログラムを今年度中に作成 県と連携した計画になるよう協議中

産業建設部長 この支援 制度の導入にあたっては、社会資本総合整備計画の作成が必要となる。富山県と連携した計画作成になるように、いま現在協議を進めている。

また本市の住宅耐震化緊急促進アクションプログラムについては今年度中の作成を予定し、来年度からの実施を準備している。

少人数学級実現を

学校教育は人格の完成をめざす

第7次総合計画には少人数学級の促進が明記されず、学校規模の適正化の検討を掲げており、小中学校の統廃合に道を開く恐れがある。

教育は、人格の完成をめざすもので、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた、心身ともに健康な国民の育成をめざしている。真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた、心身ともに健康な国民の育成が目標だ。

どの子も伸びる学校へ

そのためにはどの子も伸びる学校、落ちこぼれない学校、いじめのない学校をめざすべきで、少人数学級の実現が欠かせない。世界中が少人数学級に向かっているのに、日本だけ

